

ずっと東京に帰りたかった…  
でも帰れなかった…  
帰ったらもうあっちに戻れないような気がして…  
でも東京に着いたら、なんかイライラするの。  
東京の人は味方じゃない…

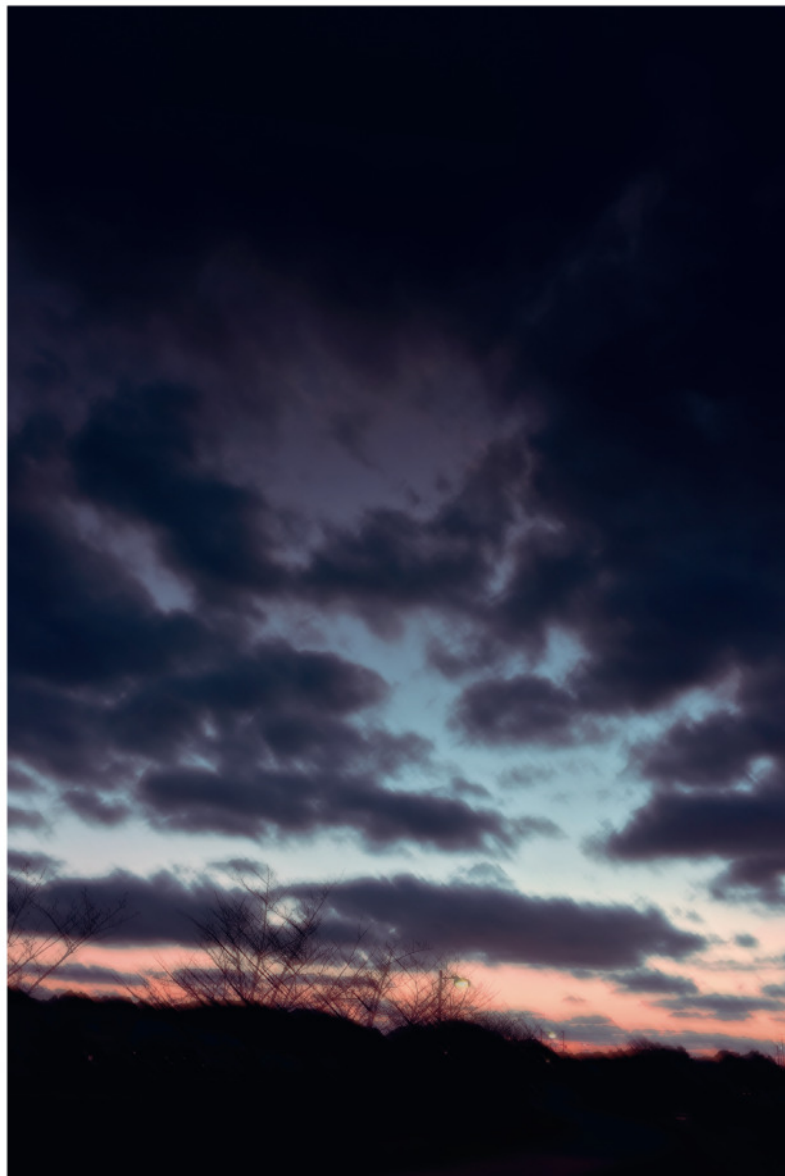


私わ  
のた  
帰し  
るの  
処か  
え  
る  
と  
こ  
ろ

日ひ日び | こっく刻々

日日刻々 | 第3回公演 私の帰る処  
作・演出：いしざわみな  
出演：さかい蜜柑 明日香 | 真木野透子  
2017年12月15日(金)～12月17日(日) 古民家asagoro

緑豊かな庭に囲まれた古い家で、樹々のざわめきや小鳥のさえずり、花々の語らいに囲まれて、健やかに、仲良く育った姉妹。  
姉の枇南子<sup>ひなこ</sup>は母を看取り、今は施設に暮らす父を見守りながら50年その家で暮らしている。  
妹の陽花<sup>ようか</sup>は、福島に嫁いで20年になる。  
震災からまもなく7年——これは、妹がようやく里帰りした冬の日の、数日間を描いた物語です。



# 私の帰る処

わたしのかえるところ

作・演出 いしざわみな

出演 さかい蜜柑  
明日香  
真木野透子

宣伝美術／写真：ninth design Web デザイン：(株)インスパイアリング  
協力：井上温子 古民家 asagoro 企画・制作：日時刻々

チケット料金：2,500 円均一  
(前売・予約・当日とも)  
※各回限定30席となります  
※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
チケット発売日 10月20日(金)

予約・問い合わせ  
インターネット予約：http://www.hibikokoku.com  
メール予約：touko-hibi@docomo.ne.jp  
(お名前、観劇日時、枚数をご明記の上、ご予約ください。  
こちらからの返信をもって受付完了とさせていただきます)  
電話予約：080-2389-7891  
※ご予約は、観劇日の前日20時まで受付いたします。  
※残席数によっては当日券の販売もありますが、定員を超えますとご入場いただけません。



2017年12月15日(金)～17日(日)  
各日13:00開演  
古民家 asagoro  
中野区若宮 3-52-5 ※駐車場はございません。  
http://www.asagoro.com/

◎西武新宿線「鷺ノ宮駅」から徒歩8分  
◎JR「阿佐ヶ谷駅」、「荻窪駅(北口)」  
西武池袋線「中村橋駅」からバス→  
「白鷺二丁目」下車徒歩9分

ある場所に立って、その空間の持つ光と影、色彩、音、熱、匂い…… その佇まいを感じて、物語を紡ぎ出すことに興味を持っている。「私の帰る処」も、初演を行った「読書空間みかも」という場所との出会いから生まれた。  
その公演で「空間にピッタリ合っていて良かった!」という感想を多くいただいた。とても嬉しかったけれど、考えてみれば当然のことで、自分が少しズルいような気持ちにもなった。  
戯曲としては、あらゆる空間で上演しうる強度というか、柔軟性を持っていることが大事だと思う。この戯曲にもっと力をつけたい。会場を変えて上演してみたいと思った理由はそこにある。  
初演はおおむね好評で、嬉しい感想や励ましをいくつもいただいた。しかし、何しろ86人しか見ていない。私はとくべつ疑い深い性格ではないけれど、悪い意見や感想があまり届いてこないのは、ちょっと居心地が悪いような気もする。  
出演者はそれぞれの役を好演してくれた。けれども全体としてまだどこか硬さが残る印象があって、この芝居はもっと良くなる、再演しよう、そう思いながら観ていた。ここに現れるのは三人の女性だけだけれど、そこにいない、彼女たちと繋がっている人々の姿も実感を持って追ってくるような、そんな芝居にしたいと思っている。  
いしざわみな